テクノトランスファー in かわさき 併催ナノテクノロジーセミナー

革新的ナノテクノロジー技術によるエネルギー社会の変革

令和元年

11月13日(水)

13:30~15:30

会 場 ▶ **カルッツかわさき アクトスタジオ**
〒210-0011神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4

人 数 ▶ **100名**

主 催 ▶ 川崎市

参加費無料

持続可能なエネルギー社会の実現は非常に重要なテーマであり、国際的な環境保全の観点からもそのニーズは年々高まっています。
近年では革新的ナノテクノロジー技術の研究が活発であり、実用化により、エネルギー社会の変革へ大きく貢献できる可能性があります。
本セミナーでは、従来の概念から飛躍的進歩を遂げる技術の研究・社会実装の取組について、京都大学の坂本准教授および樋口特定助教に研究開発／将来ビジョンについて講演いただきます。
また、新川崎・創造のもりのナノ・マイクロ研究開発拠点「NANOBIC」および本年オープンした産学交流・研究開発施設「AIRBIC」についてもご紹介します。

講演 13:30~14:15

赤外光から水素を生成する光触媒の研究と、赤外光エネルギー社会への展開

京都大学 化学研究所 准教授 坂本 雅典 氏

独自開発のヘテロ構造ナノ粒子は、光触媒として波長1100nmにおいて外部量子効率3.8%（世界最高効率）で水素を生成でき、2500nmへも応答を示した。今まで高い期待が持たれながら実現が難しかった太陽光などの赤外域利用が期待されています。赤外応答光触媒や赤外光電変換材料などの応用や水素利用の飛躍的促進など、エネルギー社会への展開可能性についてご紹介します。

講演 14:15~15:00

多孔性配位高分子(PCP/MOF) 技術による「気体の制御」の実現と京大発スタートアップ

京都大学高等研究院アイセムス 特定助教／株式会社Atomis 創業者兼CTO 樋口 雅一 氏

京都大学の北川進特別教授が発見した多孔性配位高分子(PCP/MOF)は、様々な気体を扱うことのできるナノサイズのジャングルジムのような多孔性材料で、気体を自在に制御することが可能な技術です。気体の貯蔵、分離、変換、輸送において、より低エネルギーでマイルドな条件でガスを操作でき、ガス分離膜、電池材料、センサーなど、あらゆる産業分野での活用が期待されています。世界での商業化例や日本で唯一のPCP/MOFに特化した企業である京大発スタートアップ（株）Atomisで展開する次世代高圧ガス容器の製品化等についてご紹介します。

15:00~15:30

質疑応答および新川崎・創造のもりにおけるNANOBICと新施設AIRBICの取組

（地独）神奈川県産業技術総合研究所　唐澤 志郎 コーディネータ

事前登録制

参加ご登録は右記URLをご参照ください。→ http://www.kawasaki-nanomicro.com/

【お問い合わせ先】川崎市ナノ・マイクロ技術支援講座 事務局（株式会社キャンパスクリエイト）TEL:042-490-5728

テクノトランスファー in かわさき2019　ー第32回先端技術見本市ー

新たな技術で創る未来

川崎市は世界有数の産業地帯･高度なものづくり技術集積地に加え、近年ではライフイノベーション国際戦略総合特区の一役を担う研究開発機関が集積するなど、国際的な先端産業･研究開発都市への転換が進んでいます。先端技術の見本市「テクノトランスファー」は、この川崎市において、企業の新技術･新製品の展示･実演を通じ、販路の拡大･商取引の促進を図るとともに、地域産業の育成振興を目的として毎年開催しています。今回は大規模コンベンションの利用が可能なカルッツかわさきに会場を移し、川崎国際環境技術展と同時開催して魅力アップを図ります。

■ 会　期
2019年11月13日(水)～15日(金)　3日間　午前10時～午後5時

■ 会　場
カルッツかわさき　2F　小体育室

■ 主　催
公益財団法人神奈川産業振興センター、神奈川県、川崎市

■ 協　力
公益財団法人川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、川崎市工業団体連合会、川崎工業振興倶楽部

会場へのアクセス　カルッツかわさき

JR「川崎駅(北口東)」京急「京急川崎駅」より徒歩約15分

バスでお越しの場合
JR 川崎駅東口バスターミナルより乗車約5分「教育文化会館前」下車
●川崎市営バス(系統番号:川04･川05･川07･川10･川13･川15)
●臨港バス(系統番号:川02･川03)

〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4

産学交流･研究開発施設「AIRBIC」

Concept
Open Innovation

産学･産産連携による
オープンイノベーションの環境を
提供、最先端の研究開発を支援

NANOBIC オープンラボ

新川崎･創造のもり　ナノ･マイクロ研究機器利用ガイド

産学連携による新産業の創出拠点「新川崎・創造のもり」(川崎市幸区新川崎)において、川崎市・4大学(慶應、早稲田、東工大、東大)ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアム・KISTECが連携し、企業・大学向けにナノ・マイクロ技術の最先端の研究機器36機種の開放利用を行っています。事前にご相談の上、利用申請及び安全講習を受講していただくことで、ご利用できますので、ご関心をお持ちの方は是非お問い合わせください。

川崎市撮影の空中写真（平成29年度撮影）